

えで、両者をグローバルにリンクさせていくしかない。ある特定の社会——たとえばセネガルのウォロフ社会——において、セクシュアリティが歴史的にどう変容し社会的にどう構築されているかを、コミュニティーの一員に視点を置いて考察してみよう。そこから得られる歴史的・社会的な現場に根ざした知は、そのローカル性と具体性ゆえに、逆説的に、まったく関係のないように見える日本のセクシュアリティを分析するさいにも適用しうる。そして、日本のローカルな知もまた、アフリカを分析する重要な視点となりうる。このように、互いの現場に根ざしたローカルな知を交換し共有することをとおしてはじめて、われわれは「同じ女」としてグローバルに連帯し、互いに互いをエンパワーし、社会を変革しうる。ある文化（自文化にしる異文化にしる）におけるセクシュアリティの歴史の変容と社会の構築を明らかにするような理論と実践は、セクシュアリティの本質化と物質化を脱構築し、ある文化固有のセクシュアリティの問題を、われわれみなとのセクシュアリティの問題として開くはずだ。

## 註

- 1 この段落の説明は、オラインカ・コソ＝トーマス（Olayinka Koso-Thomas、IACシエラレオネ国内委員会）の文章（5-7）、ならびに、IACのワークショップ体験セミナーでジュリエット・チュグル（Juliet Chugulu、IACタンザニア国内委員会）が行った説明をもとにしている。
- 2 数少ない現地調査としてはEl-Dareer（筆者未見）およびLightfoot-Klein参照。移民の調査としてはLockhat参照。
- 3 欧米でもかつて性器切除が行われた。イギリスでは1860年代が切除の最盛期で、女がマスターベーションを始めるとヒステリー、さらにはてんかんに発展し、白痴になって死に至るといふ説が唱えられ、その治療としてクリトリス切除が行われた。ほかに落ち着きがない、ふさぎこみがち、新し物好き（家庭から出て看護婦として働きたがるなど）、夫とセックスしたがるなど、兆候とみなされた（Sheehan）。米国では「心身症」を発症した女は、クリトリス切除だけでなく、卵巣・子宮・卵管摘出の対象となり、1940年ごろまで手術が行われた（Barker-Benfield）。フランスでの切除は16世紀後半にさかのぼる（James and Robertson 10）。
- 4 切除は社会に根を下ろし、多層的な意味をもつとされるが、それを裏切る例もある。

チャド南部の共同体では、1980年代に少女たちがファッションとして切除をするようになった。90年の終わり時点では、切除に「性的、社会的、象徴的意味」(Leonard 190) はなにも見出されず、長老も親も切除に反対している。しかし1930年代に切除が始まった近隣の共同体では、すでに結婚の要件とされ、村を挙げて盛大な儀式が行われている。

- 5 カイロ会議のいきさつについては、BoyleおよびEl Hadi参照。
- 6 当事国内外の各国の法制については、Rahman and ToubiaおよびBoyle 85-7参照。
- 7 切除問題の研究動向についてのまとめとしては、富永参照。
- 8 名称にかんする論争のまとめとしては、Lewis 4-8参照。それ以降の議論は、Boyle 24-5参照。
- 9 FGMという名称は1980年ごろから一般化した。mutilationという語を用いた初期の論文としては、Hosken aおよびDaly参照。
- 10 surgeryを提唱したイザベル・R・ガニング (Isabelle R. Gunning) の意図は、先進国で19世紀を中心に行われた性器手術や現在的美容整形手術と関連づけることにあり、岡も同じ立場である (b 53-5他)。
- 11 エリザベス・ベカーズ (Elizabeth Bekers) は切除をテーマにしたアフリカ文学を3つの時期に分け、アフリカ文学は60年代には近代化の過程にあるアフリカ文化の矛盾点として切除を問題化し、70年代から80年代にはフェミニスト視点から切除を批判し、90年代はおもに海外在住のアフリカ人が、アフリカと移住先の先進国の文化の対比のなかで切除を表象していると論じている。
- 12 千田は岡を批判して、岡はネイティブの女をロマン化することで二項対立を逆転するだけだとするが (137-8)、岡の主張は、第三世界の女たちが生きる文化のダイナミズム——彼女らは伝統的な家父長制と近代の植民地主義に抵抗するが、その抵抗の力の源は伝統文化にこそある——にあり、千田の批判するように民族文化を理想化しているのでもなければ、フェミニズム闘争より民族闘争を優先しているというのでもない。岡のダッシュ論で千田が言及していない部分 (岡 b 86ページ5行目以降) を読めばそのことは明らかだ。岡の、そして私の懸念は、切除をとおして見えてくる第三世界が一樣におぞましく、それは第三世界をフィールドとするわれわれの知る文化像とかけ離れているということなのだ。
- 13 ライトフット＝クラインの評価は大きく分かれる。限界を認めながらも肯定的に評価する論者 (Gruenbaum 142)、意義を認めながらも否定的に評価する論者 (Okome 71-3)、まったく評価しない論者 (Ogunyemi 235) など。
- 14 インタビューの内容からして、男はそもそも切除された女を求めているのではないかと、という反論もあるだろう。しかし男が求めているもの、求めていると口にするもの、男が求めるべきだとされているもの、男が求めていると女が理解するもの、それらすべてにずれはあるだろう。スーダンの大学生対象の調査で、75%の男が、切除を受けていない女の方が結婚相手として望ましいと答え、78%の女が、切除が

- 結婚の可能性を増すかどうかはわからないとしている (Herieka and Dhar)。男の回答の理由は、切除を受けていない女は上流階級出身で学歴が高いという社会的なものかもしれないし、そのような女とのセックスは解放的で近代的であるという性的なものかもしれない。正確な理由を知るにはセクシュアリティにかんする詳細な調査が必要であり、本論の範囲を超える。本論の論点は、選ぶ男と選ばれる女とのあいだにある圧倒的な力関係である。また、セネガル南部の青年が、切除を受けていない女の方が「おいしい (tasty)」(Dellenborg 87) らしいという理由で廃絶を支持しているという報告も参照。
- 15 ソマリア出身のスーパーモデルで、国連の特別大使として切除廃絶運動に携わるワリス・ディリー (Waris Dirie) は、切除という身体加工を批判しながら、モデルとして身体を商品化するという矛盾を体現している (Zabus)。
  - 16 ガニングははやくも1991年の論文で、アフリカの性器切除と米国の性適合手術のつながりを看破しており (210-11) 特筆に価する。米国で性適合手術が問題化するのには、90年代半ばになってからである。
  - 17 ベン・バーカー＝ベンフィールド (Ben Barker-Benfield) は、現代でもヨーロッパに比べて米国で各種性器手術が多い理由のひとつに、米国独特の物質還元主義があるとする。
  - 18 代表的な例としてはAmadiume参照。しかし後述するように、これまでの研究は社会制度としての母性分析が中心で、セクシュアリティや身体性の構築に母性が果たす役割は、まだじゅうぶんに考察されていない。
  - 19 ボッディは、陰部封鎖によって女は、男のセックスの相手という従属的な立場から、男の母という立場に上昇すると主張する。しかし宮脇は、ボッディの表象する村は非歴史的な閉じられた空間であると批判する (註6)。岡はむしろ、ボッディが歴史的な背景を考慮に入れていることを評価している (a)。
  - 20 現代アフリカ大衆文化の複合性についてはBarber参照。インドのロマンス映画や南米の連続メロドラマなどによる影響については、HaynesおよびLarkin参照。
  - 21 4節はトスタンの公式サイトと、トスタンの創設者の一人であるモリー・メルチング (Molly Melching) の論文、およびトスタンの方法論を評価するグリー・マッキー (Gerry Mackie) の論文によっている。
  - 22 切除をふくまない儀式を行っていた民族グループにおいて、植民地時代の移民労働をとおして切除が移入されたことで、もともとあった女の長老支配が崩れた例 (Dellenborg) や、切除をふくんだ儀式の衰退にともなって、長老中心の女の組織が、経済的な横のつながりによる協同組合組織へと変化した例 (Robertson) も報告されている。
  - 23 ガンビアでは、儀式の衰退にともなって教育価値が薄れ切除だけが行われている状況にたいし、切除なしの儀式が再興され、職業教育や女の法的権利の教育を含んだカリキュラムが実施され始めた (Hernlund)。ケニヤやウガンダ (内海158-83)、タ

ンザニア (ECOSOC 9) の代替儀礼の例も参照。

## 参考文献

- AAWORD. "A Statement on Genital Mutilation." *Third World-Second Sex: Women's Struggles and National Liberation: Third World Women Speak Out*. Ed. Miranda Davies. London: Zed, 1983. 217-20.
- Abusharaf, Rogaia Mustafa. "Revisiting Feminist Discourses on Infibulation: Responses from Sudanese Feminists." Shell-Duncan and Hernlund 151-66.
- Ahmadu, Fuambai. "Rites and Wrongs: An Insider/Outsider Reflects on Power and Excision." Shell-Duncan and Hernlund 283-312.
- Amadiume, Ifi. *Reinventing Africa: Patriarchy, Religion and Culture*. London: Zed, 1997.
- Arnfred, Signe, ed. *Re-thinking Sexualities in Africa*. Uppsala, Sweden: Nordiska Afrikainstitutet (The Nordic Africa Institute), 2004.
- - -. "African Sexuality/Sexuality in Africa: Tales and Silences." Arnfred 59-76.
- Babatunde, Emmanuel. *Women's Rights versus Women's Rites: A Study of Circumcision among the Ketu Yoruba of South Western Nigeria*. Trenton, NJ: Africa World, 1998.
- Balk, Deborah. "To Marry and Bear Children? The Demographic Consequences of Infibulation in Sudan." Shell-Duncan and Hernlund 55-71.
- Barber, Karin, ed. *Readings in African Popular Culture*. Bloomington: Indiana UP, 1997.
- Barker-Benfield, Ben. "Sexual Surgery in Late-Nineteenth-Century America." *International Journal of Health Services* 5.2 (1975): 279-98.
- Bass, Margaret Kent. "Alice's Secret." *College Language Association Journal* 38.1 (1994): 1-10.
- Bekers, Elizabeth. "Painful Entanglements: The International Debate on Female Genital Excision in African and African-American Literature." Hoving et al. 45-59.
- Becker, Heike. "*Efundula*: Women's Initiation, Gender and Sexual Identities in Colonial and Post-Colonial Northern Namibia." Arnfred 35-56.
- Boddy, Janice. "Womb as Oasis: The Symbolic Context of Pharaonic Circumcision in Rural Northern Sudan." *American Ethnologist* 9 (1982): 682-98. Rpt. in Lancaster and Leonardo 309-24.
- Boston Women's Health Book Collective. *The New Our Bodies, Our Selves*. 1973. Originally Published as *Our Bodies, Our Selves*. New York: Simon, 1984. ポストン女の健康集団編著『からだ・私たち自身』普及版 『からだ・私たち自身』日本語版翻訳グループ訳 藤枝濤子監修 松香堂 1988年

- Boulware-Miller, Kay. "Female Circumcision: Challenges to the Practice as a Human Rights Violation." *Harvard Women's Law Journal* 8 (1985): 155-77.
- Boyle, Elizabeth Heger. *Female Genital Cutting: Cultural Conflict in the Global Community*. Baltimore: The Johns Hopkins UP, 2002.
- Çağatay, Nilüfer, et al. "The Nairobi Women's Conference: Toward a Global Feminism?" *Feminist Studies* 12.2 (1986): 401-12.
- Chase, Cheryl. "'Cultural Practice' or 'Reconstructive Surgery'? U.S. Genital Cutting, the Intersex Movement, and Medical Double Standards." James and Robertson 126-51.
- Chugulu, Juliet. アフリカNGOのワークショップ体験セミナーでの発表 WAAF主催 東京 2001年1月29日
- Daly, Mary. "African Genital Mutilation: The Unspeakable Atrocities." *Gyn/Ecology: The Metaethics of Radical Feminism*. Boston: Beacon, 1978. 153-77.
- Dellenborg, Liselott. "A Reflection on the Cultural Meanings of Female Circumcision: Experiences from Fieldwork in Casamance, Southern Senegal." *Arnfred* 79-94.
- Dirie, Waris, and Cathlenn Miller. *Desert Flower: The Extraordinary Life of a Desert Nomad*. New York: William Morrow, 1998. ワリス・ディリー『砂漠の女ディリー』武者圭子訳 草思社 1999年
- Dirie, Waris, and Jeanne D'Haem. *Desert Dawn*. London: Virago, 2002 『ディリー、砂漠に帰る』武者圭子訳 草思社 2003年
- Dorkenoo, Efua. *Cutting the Rose: Female Genital Mutilation: The Practice and its Prevention*. Minority Rights Publications. London: Minority Rights, 1995.
- ECOSOC. The Implementation of the Human Rights of Women: Traditional Practices Affecting the Health of Women and the Girl Child: Third Report on the Situation regarding the Elimination of Traditional Practices Affecting the Health of Women and the Girl Child, Produced by Mrs. Halima Embarek Warzazi Pursuant to Sub-Commision Resolution 1998/16. E/CN.4/Sub.2/1999/14, July 9, 1999. Electronic Document. Available HTTP:<http://www.ohchr.org/english>
- El-Dareer, Asma. *Woman, Why Do You Weep? Circumcision and Its Consequences*. London: Zed, 1982.
- El Hadi, Amal Abd. "Female Genital Mutilation in Egypt." *African Women's Health*. Ed. Meredith Turshen. Trenton, NJ: Africa World, 2000. 145-66.
- ジクムント・フロイト「性欲論三篇」1905年 懸田克躬、吉村博次訳『フロイト著作集』第5巻 人文書院 1969年
- Gruenbaum, Ellen. *The Female Circumcision Controversy: An Anthropological Perspective*.

- Philadelphia: U of Pennsylvania P, 2001.
- Gourdine, Angeletta K. M. "Postmodern Ethnography and the Womanist Mission: Postcolonial Sensibilities in *Possessing the Secret of Joy*." *African American Review* 30.2 (1996): 237-44.
- Gunning, Isabelle R. "Arrogant Perception, World-Travelling and Multicultural Feminism: The Case of Female Genital Surgeries." *Columbia Human Rights Law Review* 23 (1991-2): 189-248.
- Haynes, Jonathan, ed. *Nigerian Video Films*. 1997. Rev. ed. Research in International Studies, Africa Series 73. Athens: Ohio U. Center for International Studies, 2000.
- Henrieka, E. and Dhar, J. "Female Genital Mutilation in the Sudan: Survey of the Attitude of Khartoum University Students towards this Practice." *Sexually Transmitted Infections* 79 (2003): 220-3.
- Helle-Valle, Jo. "Understanding Sexuality in Africa: Diversity and Contextualised Dividuality." *Arnfred* 195-207.
- Hernlund, Ylva. "Cutting Without Ritual and Ritual Without Cutting: Female 'Circumcision' and Re-ritualization of Initiation in the Gambia." *Shell-Duncan and Hernlund* 235-52.
- Hite, Shere. *The Hite Report: A Nationwide Study on Female Sexuality*. New York: Dell, 1976. シェア・ハイト『ハイト・レポート——新しい女性の愛と性の証言』パート 1・2 石川弘義訳 パシフィカ 1977年
- Hosken, Fran (a). "The Epidemiology of Female Genital Mutilations." *Tropical Doctor*. 8 (1978): 150-6.
- (b). *The Hosken Report: Genital and Sexual Mutilation of Females*. 1979. 4<sup>th</sup> ed. Lexington, MA: Women's International Network News, 1994. フラン・ホスケン『女子割礼——因習に呪縛される女性と人権』鳥居千代香訳 明石書店 1993年
- Hoving, Isabel, et al., ed. *Africa and Its Significant Others: Forty Years of Intercultural Entanglement*. Thamyris Intersecting: Place, Sex, and Race. Amsterdam: Rodopi, 2003.
- ヘイズ、パトリシア「エフンドウーラと歴史——植民地化以前および植民地体制下の北部ナミビアにおける女性のイニシエーション」永原陽子訳『JCAS Occasional Paper』19号 2003年 5-31頁 口頭発表の翻訳
- Hyde, Janet Shibley. *Understanding Human Sexuality*. 5<sup>th</sup> ed. New York: McGraw, 1994.
- Inter-African Committee (a). *Eradicate Female Genital Mutilation: Fifteen Years of Action 1984-1999*. Addis Ababa, Ethiopia: Inter-African Committee, 2000.
- (b). The Inter-African Committee (IAC) on Traditional Practices Affecting the Health of Women and Children. Online. Available HTTP:<http://www.iac-ciaf.ch/>

- James, Stanlie M., and Claire C. Robertson, ed. *Genital Cutting and Transnational Sisterhood: Disputing U.S. Polemics*. Urbana: U of Illinois P, 2002.
- Johnson, Michelle C. "Becoming a Muslim, Becoming a Person: Female 'Circumcision,' Religious Identity, and Personhood in Guinea-Bissau." Shell-Duncan and Hernlund 215-33.
- Johnson-Odim, Cheryl. "Common Themes, Different Contexts: Third World Women and Feminism." *Third World Women and the Politics of Feminism*. Ed. Chandra T. Mohanty, et al. Bloomington: Indiana UP, 1991. 314-27.
- Kassindja, Fauziya and Layli Miller Bashir. *Do They Hear You When You Cry*. New York: Delacette, 1997. ファウジーヤ・カシンジャ、レイリ・ミラー・バッシュャー『ファウジーヤの叫び』上下巻 大野晶子訳 ソニー・マガジズ 1999年
- Kieti, Nwikali. "Homesick and Eurocentric? Alice Walker's Africa." *Of Dreams Deferred, Dead or Alive*. Ed. Femi Ojo-Ade. Westport: Greenwood, 1996.
- 木本葵 「性同一性障害」 広島大学総合科目「女と男の諸相」の授業 東広島 2004年6月7日
- Koso-Thomas, Olayinka. *The Circumcision of Women: A Strategy for Eradication*. London: Zed, 1987.
- Lancaster, Roger N., and Micaela di Leonardo, eds. *The Gender/ Sexuality Reader: Culture, History, Political Economy*. New York and London: Routledge, 1997.
- Larkin, Brian. "Indian Films and Nigerian Lovers: Media and the Creation of Parallel Modernities." *Africa* 67.3 (1997): 406-39.
- Leonard, Lori. "Adopting Female 'Circumcision' in Southern Chad: The Experience of Myabe." Shell-Duncan and Hernlund 167-91.
- Lewis, Hope. "Between *Irua* and 'Female Genital Mutilation': Feminist Human Rights Discourse and the Cultural Divide." *Harvard Human Rights Journal* 8 (1995): 1-55
- Lightfoot-Klein, Hanny. *Prisoners of Ritual: An Odyssey into Female Genital Circumcision in Africa*. New York: Harrington Park, 1989.
- Lockhat, Haseena. *Female Genital Mutilation: Treating the Tears*. Middlesex: Middlesex UP, 2004.
- Mackie, Gerry. "Female Genital Cutting: The Beginning of the End." Shell-Duncan and Hernlund 253-81.
- Mandara, Mairo Usman. "Female Genital Cutting in Nigeria: Views of Nigerian Doctors on the Medicalization Debate." Shell-Duncan and Hernlund 95-107
- Masters, William H., and Virginia E. Johnson. *Human Sexual Response*. Boston: Little Brown, 1966. W. H. マスターズ、V. E. ジョンソン『人間の性反応』マスターズ報告1 謝国権他訳 池田書店 1980年

- Mayer, Birgit. "Popular Ghanaian Cinema and 'African Heritage.'" *Africa Today* 46. 2 (1999): 93-114.
- Melching, Molly. "Abandoning Female Genital Cutting in Africa." Perry and Schenck 156-70.
- 宮脇幸生「国家と伝統のはざままで——エチオピア西南部クシ系農牧民ホールにおける女子『割礼』」『地域研究』6巻1号 2004年 221-50頁
- Nako, Nontsasa. "Possessing the Voice of the Other: African Women and the 'Crisis of Representation' in Alice Walker's *Possessing the Secret of Joy*." Oyewumi 187-95.
- 縄田浩志「香がたすける性のいとなみ——施術された性器と向き合うスーダン女性」『性の文脈』松園万亀男編 くらしの文化人類学4 雄山閣 2003年 153-71頁
- Nnaemeka, Obioma. "If Female Circumcision Did Not Exist, Western Feminism Would Invent It." Perry and Schenck 171-89.
- 額田康子「Le onzieme commandementを読む——1920年代ケニアのプロテスタント宣教師による女子割礼禁止キャンペーンに対するVネックブルックの視点」『女性学研究』8号 2000年 56-79頁
- Obiora, L. Amede (a). "The Little Foxes That Spoil The Vine: Revisiting the Feminist Critique of Female Circumcision." Oyewumí 197-229
- (b). "Bridges and Barricades: Rethinking Polemics and Intransigence in the Campaign against Female Circumcision." *Case Western Law Review* 47 (1997): 275-377.
- 荻原弘子 (a) 「映像の新植民地主義——アリス・ウォーカー、プラティバ・パーマー『戦士の刻印』」『ブラック——人種と視線をめぐる闘争』毎日新聞社 2002年 99-126頁
- (b) 「女性性器手術 (FGS) を『問題』とするのはだれか、なんのためか——1930年代と70年代の議論から」『女性学研究』8号 2000年 80-92頁
- Ogunyemi, Chikwenye Okonjo. "Ectomies: A Treasury of Fiction by Africa's Daughters." Oyewumí 231-56.
- 岡真真理 (a) 「フェミニズムとエスノグラフィーのあいだで——ジャニス・ボッディによる試み」『女性学研究』8号 2000年 93-117頁
- (b) 『彼女の正しい「名前」とは何か——第三世界フェミニズムの思想』青土社 2000年
- (c) 「『同じ女』であるとは何を意味するのか——フェミニズムの脱構築に向けて」『性、暴力、ネーション』江原由美子編 勁草書房 1998年 207-56頁
- Okome, Mojúbàolú Olúfunké. "What Women, Whose Development? A Critical Analysis of Reformist Evangelism on African Women." Oyewumí 67-98.
- Oppong, Christine. *Marriage among a Matrilineal Elite: A Family Study of Ghanaian Senior Civil Servants*. Cambridge Studies in Social Anthropology 8. London: Cambridge

- UP, 1974.
- Oyewùmí, Oyèrónké, ed. *African Women and Feminism: Reflecting on the Politics of Sisterhood*. Trenton, NJ: African World, 2003.
- . "Alice in Motherland: Reading Alice Walker on Africa and Screening the Color 'Black.'" Oyewùmí 159-85.
- Perry, Susan, and Cleste Schenck, ed. *Eye to Eye: Women Practicing Development Across Cultures*. London: Zed, 2001.
- Presley, Cora Ann. *Kikuyu Women, the Mau Mau Rebellion, and Social Change in Kenya*. Boulder, CO: Westview, 1992. コーラ・アン・プレスリー『アフリカの女性史——ケニヤ独立闘争とキクユ社会』富永智津子訳 未来社 1999年
- Protocol on the Rights of Women in Africa, adopted July 03, 2003, African Union Document. Electronic document. Available HTTP:<http://www.africa-union.org/>
- Rahman, Anika, and Nahid Toubia. *Female Genital Mutilation: A Guide to Laws and Policies Worldwide*. London: Zed, 2000.
- Robertson, Claire. "Grassroots in Kenya: Women, Genital Mutilation, and Collective Action, 1920-1990." *Signs* 21.3 (1996): 615-42.
- 千田有紀「フェミニズムと植民地主義——岡真理による女性性器切除批判を手がかりとして」『大航海』43号 2002年 128-45
- Sheehan, Elizabeth A. "Victorian Clitoridectomy: Isaac Baker Brown and His Harmless Operative Procedure." *Medical Anthropology Newsletter*. (1981): 10-5. Rpt. in Lancaster and Leonardo 325-34.
- Shell-Duncan, Bettina, and Ylva Hernlund, eds. *Female "Circumcision" in Africa: Culture, Controversy, and Change*. Directions in Applied Anthropology. Boulder, CO: Lynne Rienner, 2000.
- Shell-Duncan, Bettina, et al. "Women Without Choices: The Debate over Medicalization of Female Genital Cutting and Its Impact on a Northern Kenyan Community." Shell-Duncan and Hernlund 109-28.
- Thomas, Lynn. "'Ngaitana (I Will Circumcise Myself)': Lessons from Colonial Campaigns to Ban Excision in Meru, Kenya." Shell-Duncan and Hernlund 129-50.
- 富永智津子「『女子割礼』をめぐる研究動向——英語文献と日本語文献を中心に」『地域研究』6巻1号 2004年 169-97頁
- Tostan. Women's Health and Human Rights. Online. Available HTTP:<http://www.tostan.org/index.htm>
- Toubia, Nahid (a). "Female Circumcision as a Public Health Issue." *New England Journal of Medicine* 331. 11 (1994): 712-6.
- (b). *Female Genital Mutilation: A Call for Global Action*. 1993. 2<sup>nd</sup> ed. New York: Women, Ink., 1995.

- UNFPA. "Different terms are used to describe FGC. What do they mean?" FAQs on FGC. Online. Available HTTP:<http://www.unfpa.org/gender/faq-fgc.htm>.
- 内海夏子『ドキュメント 女子割礼』集英社新書 2003年
- WAAF. FGM廃絶を支援する女たちの会 (わーふ) オンライン 以下でアクセス可能  
<http://www.jca.apc.org/~waaaf/>
- Walker, Alice (a). *Possessing the Secret of Joy*. New York: Pocket-Washington Square, 1992. アリス・ウォーカー『喜びの秘密』柳沢由実子訳 集英社 1995年
- (b), prod. *Warrior Marks: Female Genital Mutilation and the Sexual Binding of Women*. Dir. Pratibha Parmar. 1993. アリス・ウォーカー制作総指揮『戦士の刻印——女性性器切除の真実』(ビデオ) プラティバ・パーマー監督 スタンズ・カンパニー 1996年
- Walker, Alice, and Pratibha Parmar. *Warrior Marks: Female Genital Mutilation and the Sexual Binding of Women*. San Diego: Harvest-Harcourt, 1993.
- Weil-Curiel, Linda. "Female Genital Mutilation in France: A Crime Punishable by Law." Perry and Schenck 190-7.
- WHO. *Female Genital Mutilation: A Joint WHO/UNFPA/UNICEF Statement*. Geneva: WHO, 1997. WHO『女性性器切除 (FGM) の廃絶に向けて——WHO・UNICEF・UNFPA共同声明文』WAAF訳 WAAF 1998年
- Winter, Bronwyn. "Women, the Law, and Cultural Relativism in France: The Case of Excision." *Signs* 19. 4 (1994): 939-74.
- 山下昇「アリス・ウォーカー『喜びの秘密』における『アフリカ』表象」『黒人研究の世界』黒人研究の会編 青磁書房 2004年 145-54頁
- Zabus, Chantal. "Acquiring Body: Waris Dirie, Infibulation, and New African Female Self-Writing." Hoving et al. 61-76.

## **Glocalizing Sexuality: Female Genital Cutting in the Gender Studies Classes**

OIKE Machiko

Female genital cutting or FGC is an age-old social custom, sometimes euphemistically called female circumcision, which has been practiced mainly among some ethnic groups in Africa. Since the UN Women's Decade, 1975-85, the issue has bought about heated debates among feminists, some demanding outright and immediate eradication of the custom as it violates the basic human rights of women, while some stressing the need for deliberate approaches which integrate abandonment projects as a part of comprehensive social and economic reform with respect to cultural rights of the people who practice FGC.

The paper aims to explore how to address the issue to university students in Japan in a classroom of Gender Studies, most of whom are in their adolescence, with its purpose being to raise gender awareness over sexuality and the body. By doing this, the paper also attempts to elicit academic and pedagogical exchange of views from various disciplines among the teaching staffs of Hiroshima University. The first section presents an overview of FGC to share its basic understanding. The second section explains how the issue has been tackled locally and globally with much conflict over cultural rights verses human rights. The third section demonstrates an effective way to approach FGC in a classroom of Gender Studies from a perspective which considers sexuality a social construction. The fourth section

shows the success of one Senegalese NGO, a case which presents a dynamic way to transform community in terms of gender with a result of abandoning FGC.